

図書館経営論のための基本文献

雑誌については，ここ数年の目次を通覧するか，『雑誌記事索引』などの検索ツールを使って関連のある掲載論文を探しましょう。検索の時には，主題のキーワードを用いるほか，その分野に精通した著者名で検索することも有効です。

『雑誌記事索引』 <<http://opac.ndl.go.jp/>>

全般（単行書）

大学図書館の有用性を再発掘した名著です。

- ・井上真琴，『図書館に訊け』（ちくま新書），筑摩書房，2004

社会における公共図書館の可能性を，最大限に発揮した事例報告として，学ぶべきところが多い名著です。

- ・菅谷明子，『未来を作る図書館：ニューヨークからの報告』（岩波新書），岩波書店，2003

全般（雑誌）

日本の図書館全般に関する基本雑誌です。

- ・日本図書館協会，『図書館雑誌』
- ・国立国会図書館，『Current Awareness Portal』 <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/>>

主にアカデミックな図書館（大学図書館・専門図書館）のテーマに関する記事を収録しています。

- ・情報科学技術協会，『情報の科学と技術』
- ・科学技術振興機構，『情報管理』

公共図書館（単行書）

今後の公共図書館の方向性を変えるであろう報告書です。バランスの取れた視点で，この2つの報告書を取り扱う必要があると思います。

- ・これからの図書館像の在り方検討協力者会議，『これからの図書館像：地域を支える情報拠点をめざして（報告）』，[文部科学省]，2006，

<http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06040513.htm>

- ・図書館未来構想研究会，『これからの図書館像：実践事例集』，[文部科学省]，2006
- <http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkoku/06040715.htm>

今までの日本の図書館界を牽引してきた名著です。上記報告書とあわせて読む必要があるでしょう。

- ・前川恒雄・石井敦，『図書館の発見』（NHK ブックス），日本図書館協会，2006

公共図書館の現場職員が執筆した，実務的側面を把握するために格好の書籍です。

- ・図書館の仕事作成委員会，『知っておきたい図書館の仕事』，エルアイユー，2003

大学図書館（単行書）

現代の大学図書館の最先端の諸問題に関して，その分野の第一人者が論述した著作です。

- ・逸村裕・竹内比呂也編，『変わりゆく大学図書館』，勁草書房，2005

大学図書館の現場職員が執筆した，大学図書館の実務的側面を把握するために格好の書籍です。

- ・ 大学図書館の仕事制作委員会編，『知っておきたい大学図書館の仕事』，エルアイユー，2006

これも現場職員の視点からの著作です。これから大学図書館に勤務しようとする方にお薦めの書籍です。

- ・ 大野友和編，『大学図書館がゼロからわかる本』，日本図書館協会，2005

大学図書館（雑誌）

主に，現場の大学図書館職員による文献を収録しています。

- ・ 「大学図書館研究」編集委員会，『大学図書館研究』

次の2雑誌は，それぞれの分野に限らず，大学図書館全般に関係する記事を収録しています。

- ・ 日本医学図書館協会，『医学図書館』
- ・ 日本薬学図書館協議会，『薬学図書館』